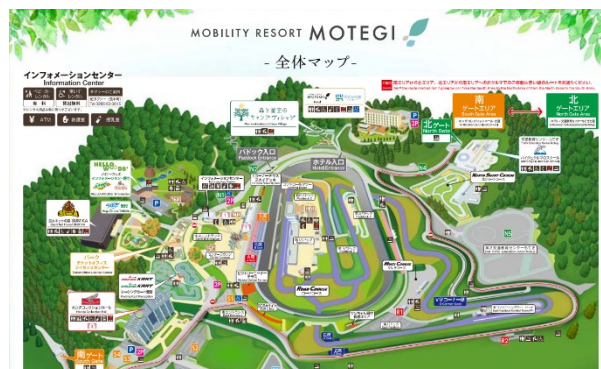


2023 GR86/BRZ Cup Rd.3 もてぎ 現地レポート

開催日：2023年7月22日(土)～23日(日)
場所：モビリティリゾートもてぎ
チーム名：TeamTakuty CHIBA SUBARU Racing
参戦車両：SUBARU BRZ 87号車
ドライバー：久保 凜太郎
メカニック：新倉将希（成田店） 川岸悠人（長沼店）
成澤拓郎（スバル信州）



7月20日（木）

この日スポーツ走行（練習走行）1本目が8:45～と早い時間からのため、前日水曜日から宇都宮入り。サーキット集合7:30。渋滞の関係で若干遅れて到着したCHIBAチームでしたが、到着後、簡単な自己紹介後すぐに走行準備に取り掛かりました。今回のもてぎラウンドは、走行枠が少なく、限られた時間内で車両のセットアップを決定しなければならず、1本目からドライバーもメカニックも真剣に作業を続けます。1本目の走行を終え、車両の状態は非常に良く、久保選手もまずまずのタイムで走行。この日は午後の走行予定がなく、87号車、88号車共に午後はトランスミッションの交換作業が予定されていました。久保選手から「ミ

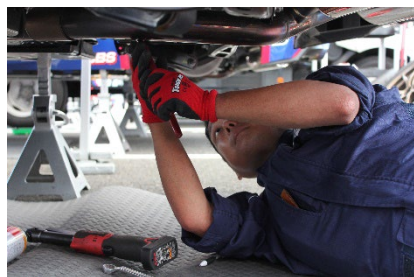


ッションの調子もすごく良い」「交換しない方が良いかも・・・」なんて会話もしてたくらいです・・・この時まで・・・

1本目の手応えを残して、2本目のスポーツ走行が10:50～開始。メカニックもドライバーの表情や会話から好調を感じながら、タイヤの準備を進め、スタート。走行中のピット作業も順調に進み、時間枠ギリギリに本日最後のアタックを開始。・・・しかし・・・最終周に**事件発生!!**

急にペースダウンし、何とかピットまで戻ってきた87号車!!何が起きたかわからないまま、心配そうに見つめるメカ

ニック。「ミッションが・・・」との会話を聞きながら、みんなで車両を押してテントまで戻りました・・・最終周突然の**ミッションブロー（トランスミッションの故障）**が発生し、自走できない状況になってしまいました。「ミッションで良かった～」と内心安心した後は、すぐにメカニックたちがミッションの載せ替え作業を開始していきます。普段は、リフトを使って高い位置で部品の脱着をする



ディーラーメカニック(以下デメカ)達

ですが、ここにリフトはありません。ジャッキアップ程度の限られたスペースでの作業となります。それでも87号車担当の3名のデメカ **新倉（成田店）川岸（長沼店）成澤さん（スバル信州）**は、目を輝かせながら分担して手際よく作業を続け、あっという間に作業完了。さすがはデメカ。見事不具合改善となりました。

7月21日(金)

この日も、走行枠は午前中 10:45～の占有走行のみ。昨日ミッション交換を終えた車両は、なんとドライバー自身が公道試運転（ホテルまで乗って帰る）を実施し、しっかりとミッションの慣らしも終わっております。昨日より若干曇りがかり、路面温度も少しだけ下がった状態で専有走行が始まりました。

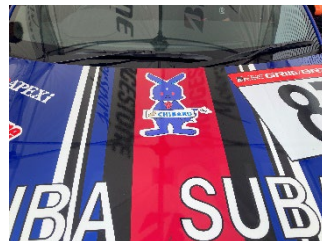
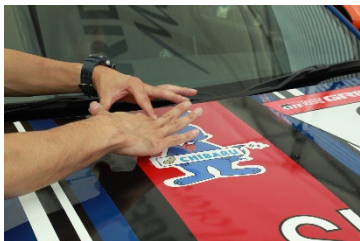


ここでは、今回初めて新しいタイヤでセットアップ確認。デメカ達は、3周目のピットインで、中古のタイヤに交換。結果専有走行では全体の**8位**となり、久保選手も「**ニュータイヤのグリップも良く、余裕をもってドライブできたので明日の予選はもっと良くなる!!**」と落ち着いた表情で答えてくれました。この時点で「いつもと違うな～」と感じた私。得意なコースとは言っていませんでしたが、過去にチャンピオンを決めているコースでもあり、久保選手との相性は良いのかも・・・とこの時は思っていました。

昨日交換したミッションも全く問題なく、車両は完璧な状態と思いきや・・・この日最後に行われた事前車検では、いつものちょっとした指摘を受けます。SUGO・オートポリスの時もちょっとした指摘を受けているので、もはや恒例??(笑) その後、しっかり事前車検をパスして、2日目終了となりました

あっ・・・もう一つこの日の出来事。この日 87号車のエンジンフード（ボンネット）に、千葉スバル公式キャラクターとして今月7日にデビューした「**CHIBARU（チバル）**」が、乗り込みました～🍌

こっそり 88号車にも乗り込んだじゃうか・・・??と試みましたが、さすがに 88号車には乗れなかった～(笑)



7月22日(土) 予選

この日は、いよいよ 9:55～予選!!過去の2戦を振り返っても、予選の順位が非常に重要なのはサポートするデメカ達も承知しています。好調な 87号車とは裏腹に、私は朝から口数がかなり減っている。実は私の中で、ここまで2戦終わってノーポイントからシリーズチャンピオンを目指すには、この第3戦の結果がすごく重要であり、今回に掛ける意気込みやプレッシャーを過剰に感じていたからです。「勝つ」ために出来る事、久保選手と相談しながら今回第3戦に挑んでいる私は内心「心臓バクバク」状態でした(笑)

いつものように、両ドライバーがあわただしく予選の準備を始めます。いつ

もよりちょっと余裕のある久保選手の近くで変な空気を出していた私に向かって、久保選手が一言「俺より緊張してない?」って・・・予選前のドライバーに気を使わせてしまった事に反省・・・。



はいよいよ、車両もピットへ移動。今回ピットは最前列。デメカ達も予選前、最後の内圧調整（タイヤ空気圧調整）を実施し、ドライバー二人に全てを託します。私もいつものルーティンで、右フェンダーをタッチしながら無事を祈ります。はいよいよ予選スタート!!88号車に続いて87号車。2台は先頭で予選タイムアタックに入りました。



最初の1周はタイヤを温め、2周目にアタックに入ります。私も手元の時計で87号車のタイム計測開始。この2分強がすごく長く感じながら、まずは88号車がホームストレート通過。そのすぐ後に87号車!!手元の時計では、練習走行より早い2分13秒台を記録。見た瞬間に「13秒台だー」と私が叫んだと同時にトップの位置に87号車 久保選手の表示!この時点で鳥肌と「落ちないでくれ〜」と祈りの時間に・・・最初3位に表示されていた88号車 井口選手も、

目の前をマシンが通過するたびに少しずつ下に下がっていく中、87号車の上に10号車 菅波選手が・・・「これ以上落ちないでくれ〜」というみんなの祈り、ただ、練習走行でものすごく早かった160号車 吉田選手がまだ通過していない。「頼むこのまま終わってくれ〜」と祈った瞬間160号車がホームストレートを通過。菅波選手の上に160号車 吉田選手が表示され、結果87号車 久保選手3位・88号車 井口選手6位で予選終了となりました。

帰ってきた久保選手に笑顔と無言でがっちり握手し、久保選手の健闘をたたえました。内心、泣き出しそうでしたが、「今日はまだ予選」と自分に言い聞かせ、久保選手も本当に嬉しそうだし、何よりデメカのみんなやスタッフのみんなも大喜び!!涙ぐむスタッフもいました。

予選が重要なこのレースで、3位で予選が終われたこと、本当に素晴らしい結果でした。

予選3位 87号車 久保選手 2'13.613 予選6位 88号車 井口選手 2'13.772

そして今回のNewアイテム!!87号車 久保選手 応援用の**横断幕**を導入!!頑張れ!久保選手!

明日はいよいよ決勝。横断幕と共にお客様や当社スタッフも応援に駆けつけてくれる。目指すは「優勝!!」とこの時は思っていました。

そしてこの日は予選が午前中で終わり、午後は車両保管のためデメカ達を連れて、ホンダコレクションホールを見学。歴代のホンダ優勝車両を見ながら、明日の87号車「優勝」を重ね合わせて帰りました。



7月23日（日）決勝

この日は、決勝レースが13:55〜と言う事もあり、いつもより遅くホテルを出発。昨日から緊張のせいかな？口数の少ない私は、朝一に行われたクラブマンシリーズの決勝を見て・・・さらに緊張が高まる事に・・・なんとクラブ



マンシリーズの決勝レースは非常に荒れた展開。リタイア続出という結果を目の当たりにしてしまった事で、プロフェッショナルクラスのレースも一気に不安になってしまいました。それでも、ドライバーに緊張が伝わらないようにサーキット入りして車両保管解除をみんなで待ちます。車両保管解除のころ、応援のお客様もテントまで来てくれて、間もなく千葉スバル応援団も到着。着々と決勝スタートが近づいていきます。デメカ達も最後の確認を慎重に行い、目指すは87号車 88号車のダブル表彰台。チーム一丸となって決勝レースに挑みます。実はこのレースウィーク、練習走行も予選もすべて

午前中。路面温度が上がる午後に走るのはこの決勝が初めて。各チームとも決勝前のセッティングをあわただしく調整している。そんな中、我々Team Takuty の 2 台は落ち着いて決勝前のグリッドに・・・当たり前ですが 87 号車は前から 3 台目。今までで一番、良い位置に停まっている 87 号車を見た瞬間、旗を持つ私も涙を我慢しながら、久保選手の健闘と無事を祈って、いつものグータッチ!!オープニングラップを終え、一瞬、静まりかえる会場。アナウンスと共に、スタートのシグナルブザー。いよいよレーススタート!!まずまずのスタートを切った 87 号車。それより良いスタートを切ったのは 4 番手 31 号車 青木選手。スタート直後にかわされ 87 号車は 4 位に順位を下げてしま



います。さらに素晴らしいスタートだったのは、6 番手スタートの 88 号車 井口選手。気づけば久保選手の後、5 番手に!!これが後に久保選手の結果に大きく影響してきます。気温も高く、温度とマシンの戦いとなったこのレース。高温の餌食となり数台がマシントラブル。予選並みの速さで周回を重ねる 160 号車 吉田選手の独走。井口選手は前の久保選手を逃がすために後ろをブロックしながらラインを変えて周回を重ねていきます。序盤で 2 位の菅波選手をプッシュする 87 号車 久保選手。久保選手が 1 コーナー飛び込みで見せます。インに飛び込み 2 位浮上。トップの吉田選手を追いかける展開。4 周目、前回 2 位の平良選手がマシン

トラブルでリタイア。いろんな車が熱の影響でトラブルを起こす中、デメカ達が万全の準備をして挑んだ 87 号車 88 号車は順調に周回。ホームストレートに帰ってくる 2 台に大きな声援を送ってくれる応援団。祈るようにレースを見守る我々スタッフ。87 号車が 6 周目に入った瞬間・・・前を走る 160 号車 吉田選手の GR86 が、1 コーナーの侵入減速時に「ガラガラ～」と異音。その瞬間にスローダウンしてラインを変更。その横を 87 号車がすり抜け、とうとうトップに浮上!! (鳥肌が止まらない) 88 号車 井口選手も混戦から抜け出し 3 位をキープ。残り 2 周、トップを走る久保選手でしたがギリギリと 2 位を走る 98 号車 元嶋選手が追いつきます。テール to ノーズのまま残り 1 周、ファイナルラップ。久保選手も最後まで丁寧に 87 号車を操り、いよいよ最終コーナー、この時点で私の涙腺崩壊(笑)



見事、87 号車 久保選手優勝!!

88 号車 井口選手 第 3 位!!

ダブル表彰台達成!!!!



